

今の子供たちは…

●公園脇の道路で小学校六年生ぐらいの男の子たちがサッカーボールをけつて遊んでいた。「危ないじゃないか／公園の中で遊ばない」としかつたところ、「この道はおじさんちのかよ。何の権利があるのよ」と言った。(江陽・春日野ブロック)

●運動部の練習中、体が丈夫でないため途中で休んでいた。そこへ上級生がきて、「なぜ休んでいる」と言ってきた。けるの暴力を加え、数日間あざが消えなかった。それ以後もいじめの対象にされた。(中原・神明ブロック)

●ガラスを割ったり、清掃用具をこわしたり、忘れ物をそのままにしている子がいる。(太平洋・浜岳ブロック)

子供の問題は大人の問題

しかし、同時に「どういう子供に育ていくのかはどういう時代背景の下で、どうい親に、どのように育てられたかか問題である」との視点から、大人の責任について、数多くの意見が出された。

- 夜間巡視の時に、子供たちに早く家に帰るように注意すると、「家に帰って何をやるんだよ」という返事。彼らにとっては、寒い夜空の下で、仲間と肩をふれあって騒いでいた方が、家庭よりずっと温かいのではなからうか。(神田・横内ブロック)
 - 親である私たちが、自分さえ、自分の子供さえよければとか、あるいは、他人の忠告に逆うらみするような心の狭い考え方を捨てて、心を大きく広げて、人と接してほしい。(神田・横内ブロック)
 - 地域の中で、エネルギーにあふれた子供たちが、何をやらよいか、何をやらせてやらよいか、あまり考えられていない。(大野・大住ブロック)
 - 子供が小学校五年の時に、登校拒否のようなことがあった。原因を聞いてみると「ぼくたちのエネルギーをどこに、先生が受けとめてくれない」と言った。(中原・神明ブロック)
- 子供たちは、今「あえいだり、苦しんだり、溜みながら」私たち大人に強く反省を求めているのではないだろうか。

地域では

地域活動のあり方

子供たちのしつけ、自主自立性、自酬心、思いやりなどを育てるのは、家庭教育に負うところが多いが、地域社会での生活やふれあいの中で、自然にはぐくまれていくものである。従って、健全育成活動は、地域社会が一体となって、地域ぐるみで盛りあげることが必要である。

①一人一人が他人まかせでなく、自分たちの子供は自分たちで守り育てるという意識のもとに、地域活動に進んで参加してほしい。

②子供会育成活動、PTA活動、その他すべての地域活動は、みんなが日常生活の一部と考え、家庭から一歩踏み出していく参加が必要である。

望ましい地域づくり

子供の成長には、家庭をとりまく地域のかかりが大きいので、他人のことを思いやる地域づくりが望まれる。自然発生的な遊び集団がなくなってしまった現在、地域社会が意図的に、子供たちにとって望ましい人間関係をつくっていかねばならない。

①地域活動を通じて、温かい心をはぐくむための場づくりに努める。

②ふれあいを深めるひとつの手だてとして、向こう三軒両隣りが協力して、遊び場を確保し、遊びを促す。

③地域の会話は必要で、「おはよう」「こんにちは」「気をつけて」と、一声を掛け合う。

④勇気をもって他人の子にも注意すべきで、注意されたら感謝の気持ちを持つように。

⑤よいことはほめよう。他人の子をほめる場合は、親を通してほめるのが効果的。

地域組織の強化

青少年健全育成活動の効果をあげるためには、地域内の組織がお互いに十分連携協力し、地域内に意識の浸透を図る必要がある。

①ある地区では、自治会に青少年部を設け、地域ぐるみの体制で成果をあげている。

②サラリーマンは、時間的余裕がない。だから地域内の組織を一本化して、強力なものにすれば、集中できると思う。

③地域の指導者は、適任者を選んで、行政も指導者の養成教育に力を入れてほしい。

地域活動

- 地域における健康的な活動は、青少年の自主自立や思いやりの心を育て、良好な環境を目指して、数多く行われている。
- ①中高生の社会参加
地域における健全育成には、縦の異年齢交流が重要であり、中学生になっても、子供会活動は続けるべきである。子供に使命感や喜び、感動などを与える意味からも必要である。
- 小中学生の一貫した子供会を組織し、縦社会の経験を積ませる。
- 地域の育成行事等に、中高生を自主的に参加させる方法を考える。
- 大人も子供の中に溶け込み、子供の心をつかんで、優しさ、悲しさ、楽しさなどともに味わっていくことが肝要である。
- ②思いやりの心を育てる
お年寄りや障害者に対する福祉活動は、人間性をはぐくむうえで大切なことである。そこに、他人の痛みわかる温かい心が育っていく。
- ③子供たちにより環境を
まちの環境がよくならなければ、子育ては困る。青少年を取り巻く社会環境は大人が作り出したもので、環境悪化が非行の要因ともなっている。
- 商店のブックススタンドの本は、子供に見せられないものがある。買う側でも十分気をつける必要がある。
- 家庭でも、シンナー等の管理を十分にしてほしい。
- 未成年者の喫煙が健康にいかによいか、地域においても啓発を行い、防止に努めるべきである。

地域活動の課題

現在行っている地域活動がどの程度の効果をあげているのか。また、活動が形式的に流れ、本当に子供の心をとらえたものになっているだろうか。行事の持ち方にも苦労がある。親のより一層の関心を求めるとともに、父親の積極的参加が必要である。

青年に育成の主導権を

青少年健全育成活動のために、青年に立ち上がってもらいたい。育成の主導権をぎってくださるすばらしいことだから…

学校では

先生へのお願い

- ①子供との心のふれあいを大切にしてほしい。
- ②知育、徳育、体育と、バランスのよい教育にご配慮を。
- ③「秩序の中の自由」をよく理解していただき、厳しく指導してほしい。
- ④市民としての誇りを身につけさせるため、市民憲章や市歌などを、指導してほしい。
- ⑤未成年者の喫煙が、いかに成長期の青少年に害をなすか説明し、納得させてほしい。
- ⑥「生徒は先生の背中で学ぶもの」といわれている。先生自身の資質の向上に努めていただきたい。

指導方法について

- ①職員間の意見統一は難しいと思うが、少なくとも、学童への教育方針は統一的な考え方を。
- ②校内の規律違反に対しては、厳格に。

- ③社会生活に根ざした体験学習を多く取り入れ、生活指導に役立つものを配慮して。
- 福祉施設へのボランティア活動などに携わることによって、感動を与えてはいいが、
- 動植物の生育作業など、自然とのふれあいの機会を設け、素直な心が養えるように。
- 共同、協力精神の大切さを教える。

PTA活動へ

- ①父親や学校行事に参加しない家庭への呼びかけなど、活性化を。
- ②PTAのOB組織を育て、地域性と継続性を図らう。

学校・家庭・地域の連帯

- ①子供を社会の子として、見つめ直す運動を。
- ②非行の問題は隠さず、情報交換が必要。



子育て！家庭、地域の役割

いま私たちができることは

子供たちは、なぜ「ツッパル」のか、なぜ「いじめ」が起きるのか。子供の健全育成のために、「いま私たちができることは」というテーマで、まちづくり市民のつどいを開いてきた。第一回の浜浜・大洋ブロックから、第五回の神田・横内ブロックまでの、市民から出された提言や意見を、「広報ひらつか特集号編集委員」が、KJ法(アイデアを生み出す方法)に似たカード分類で、「家庭」「地域」「学校」「行政」の四区分にまとめた。みなさんもう読願い、青少年の健全育成にご協力を。

家庭では

家庭の教育について

①親の心掛けるべき点

- 温かい抱擁力をもって子供に接し、家族の連帯感を築くようにする。
- できる限り子供の言葉に耳をかたむけ、子供の心の奥を知り、つかむようにする。
- 素直な言葉で、子供が目標に向かって進むような導き方、しかり方をする。
- 子供が持っているエネルギーを生かすように工夫すること。また、好奇心や冒険心、地域活動への参加意欲にブレーキをかけない。
- 子育てを母親任せにしないで、父親も積極的に取り組む。そして、母親の地域活動に理解と支援をする。
- 母親は子育てに専念することが望ましいが働く場合は、しっかりした考えのもとに勤める。
- 非行は見えない所に移っている。往問留守の家庭では注意が必要である。
- 子供時代の思い出をたくさんつくるように努める。

②子供の身につけさせたい点

- 子供の行動力を助長し、個性を伸ばす。
- 周囲の人々と仲よくできるよう協調性を養う。
- 他人のことを思いやる心を培う。
- 物の所有感覚をはっきりさせ、自他の区別をわきまえさせる。
- 物の値打ちばかりでなく、心の大切さ、尊厳について気付かせる。
- 礼儀に始まって、礼儀に終わる生活習慣をつける。
- 家庭で生活の基本を早く身につけさせる必要がある。
- 清掃やごみ分別、買い物などの実体験を通して、集中力、忍耐力、働くことへの意欲を育てる。
- 一度手をつけた仕事は、最後までやりぬく使命感や責任感を養う。

③家庭の留意点

- 「三つ子の魂百まで」のたとえのように、幼児期に基本的なことを教えて、土台づくりしておく。
- 子供の問題は親の問題であり、親の日常生活態度が大切である。

● お年寄りにつれなくなっているような親が、いくら「お年寄りや身体の不自由な人はいたわらんでしょ」といっても、思いやりや親切心は芽生えない。また、子供にかみかみという親自身が行行不一致であれば、信頼関係もくずれ、尊敬の念も育たなくなる。

要は、父母が同一歩調で子供に接し、一生懸命に生きる姿をがすことである。そして、喜びも悲しみも親子で分け合う気持ちを持っていれば、「家にいるより、夜遊びをしていた方がずっと楽しい」というような子供にはならないと思う。

明るい家庭づくりは、子供の健やかな成長と、明るい地域づくりにつながる。

親たちに問題はないか

①お父さんをたてよう

日常の言動の中で、母親の不用意な発言に問題がある。例えば「あなたはお父さんに似てだらしのないおね」といったくちなど、父親を見下した場面が見られるが、子供の養育上、影響があるとは思われない。父親は大事な存在であることを忘れないようにする。

②よその子も同じ目で育てよう

よその子供に注意したら、親子共々付き合いがなくなったという例がある。自分の子供だけでなく、他人の面倒もみる、場合によってはしかるような大人でなければならない。大人同士が近所付き合いを密にし、お互いに子供を見守る態度が大切である。

悪影響を与えるもの

①何でも話し合える家庭づくり

青少年をとりまく社会環境、特に、高度情報化社会の中では、刺激の強いものが生のまま子供たちの目や耳に入ってくる。また、街には、深夜営業の店が増え、夜の生活人口も増加の傾向にあるといわれている。「非行に走る青少年はど心に寂しさを持っている」といわれ、「思いやりのない子供は、批判的な親から生まれる」ともいわれている。何と云っても、円満な家庭づくりが非行の防止策の基礎といえるのではないか。

行政では

青少年の健全育成

「一國の盛衰は、その國の若者を見ればわかる」といわれている。青少年に一つの目標を与えることこそ、行政の果たすべき重要な課題であり、責務である。それにはまず、日ごろ身近すぎて、見過ごしがちな市歌や市民憲章を十分認識させ、市民意識の高揚に努めるべきである。

当面の施策について

- ① 青少年相談室が市民センター内にあり、警察署もそばにあるため、何となく入りづらいので、もっと気軽に出入りできる窓口の設置を考えてほしい。
- ② 街路灯や通学路等の危険箇所を整備し、安全面の徹底を図っていただきたい。
- ③ 学校の教材用具の破損や不足がみられるので、授業に支障のないようご配慮を。
- ④ 公園施設は、整然たる近代公園よりも、児童が伸び伸び遊べる野性味のあるものを設置して。
- ⑤ 青少年活動に対し、予算の配慮をしてほしい。特に、

中学生参加事業に対する資金面での助成をしていただきたい。

⑦ いじめ110番の窓口を新設し、子供の悩みを受けとめてくれる場を考えてほしい。

社会教育について

- ① 親の中には、子供のしつけに自信がなく、迷っている人がいるので、子育ての基本的なものの社会教育学習を考慮を。
- ② 学習内容については、子供の成長年代に合わせた家庭教育父母講座の充実を。
- ③ 子供たちの地域参加事業として、年少から高齢まで、一体となった世代間の交流イベントを、自治会等地域団体の協力を得て、推進させていただきたい。
- ④ 地域コミュニティ活動を育成する意味で地域託児所の整備と、それに携わるボランティアの養成についてご配慮を。
- ⑤ 子供たちの養育は、本来は母親が行うべきものと思うが、職業をお持ちの母親と学童のために、学童保育に援助してほしい。



